

# 第85期中間報告書

平成20年4月1日～平成20年9月30日

# 北電

# 第85期 中間報告書

平成20年4月1日～平成20年9月30日

## CONTENTS

### 目次

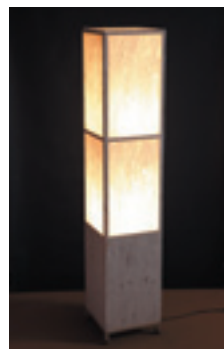
- 株主のみなさまへ ..... 3
- 事業の概況 ..... 4
- 連結財務諸表 ..... 6
- 環境にやさしい社会の実現を目指して ..... 8
- 北電トピックス ..... 10
- 北陸電力グループの紹介 ..... 11
- 北陸の手仕事 ～創る人がいる～ 越前和紙 ..... 12
- 株主information ..... 14

### ■表紙

## 北陸の手仕事 ～創る人がいる～ 越前和紙

奉書、ふすま、便せんなど、いにしえよりわたしたちの日常に溶け込んできた和紙。数ある産地の中で越前和紙は1500年もの歴史があり、手漉き和紙の生産量全国1位を誇ります。和紙は耐久性に富み、技法によってさまざまな表情を見せるのが特長で、越前でも照明シェード、商品パッケージ、お酒のラベルなど、幅広い用途の和紙を生産しています。

越前和紙を透かした時のやさしい、柔らかな光は、永い時の中で技を磨きながら、それを守り伝えてきたからこそ生まれるのです。



■越前和紙

# 株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当社グループは、昨年10月に策定した「北陸電力グループ中期経営方針2010」のもと、「信頼回復に向けた隠さない風土と安全文化の定着」と「北陸地域との共生に向けた事業活動の展開」を柱に経営改革を推進し、事業活動を展開しております。とりわけ、昨年来実施してきた一連の発電設備に係る不適切事案の再発防止対策については、各職場における自律的・継続的な改革・改善活動として、引続き安全文化・コンプライアンス意識の定着に取り組んでまいります。

志賀原子力発電所につきましては、2号機は、6月に営業運転を開始し、また、1号機は、現在実施中の耐震裕度向上工事を来年1月を目途に完了する予定としております。今後とも、地域のみなさまにご安心・ご信頼いただけるよう、安全・安定運転の徹底を図ってまいります。

化石燃料価格の著しい高騰や地球温暖化防止への対応など、喫緊の経営課題に対処するため7月に設置した「2008緊急経営対策本部」では、その具体的取組みを取りまとめました。経営効率化につきましては、火力発電所の定期検査時期・内容の見直しや諸経費の削減など、安全最優先を大前提に、事業運営全般にわたり徹底したコストダウンを着実に進めてまいります。また、地球温暖化防止につきましては、原子力発電の安全・安定運転をベースに、水力発電の推進、メガソーラー(大規模太陽光)発電の開発など、低炭素社会実現に向けた再生可能エネルギー導入拡大への具体的取組みを推進してまいります。

また、経済産業大臣および資源エネルギー庁から、電気料金が現下の経済状況や国民生活に与える影響等を踏まえ、来年1～3月分の小売規制部門の燃料費調整について対応をするよう要請を受け、影響を緩和する特別措置を講ずることといたしました。

中間配当につきましては、安定配当継続の方針に基づき、1株につき25円とさせていただきます。

当社は、グループの総力を挙げて難局に立ち向かうとともに、安全確保を最優先とする事業運営を徹底し、「信頼され選択される新しい北陸電力グループ」を創りあげてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、当社グループに対し、なお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



平成20年11月

取締役会長 **新本富士雄**

取締役社長 **永原 功**

# 事業の概況

## 収支の状況

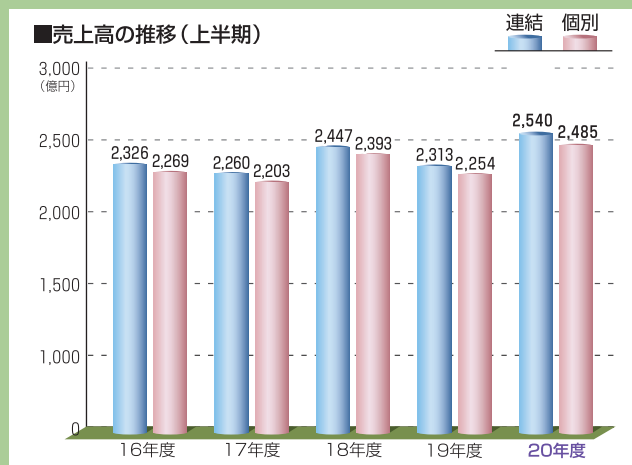
当上半期の我が国経済は、燃料価格や原材料価格高騰の影響などから企業収益が減少したほか、輸出は伸びが鈍化し、期の後半には設備投資や生産活動にかげりが見られるようになりました。また、個人消費や雇用情勢も下降の動きが見られ、景気は昨年度まで続いた回復局面から停滞局面へと推移しました。北陸地域においても同様の状況で推移いたしました。

このような経済情勢のもと、当上半期の連結収支につきましては、収益面では、電気事業において販売電力量の増加や他の電力会社への販売電力収入が増加したことなどから、売上高（営業収益）は

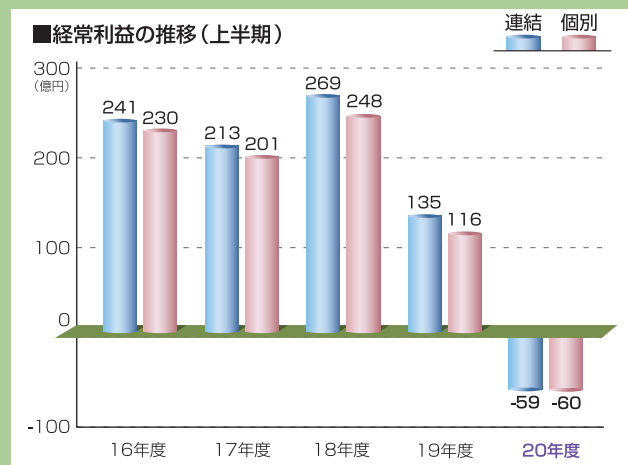
2,540億円となり、これに営業外収益を加えた経常収益は、前年同期に比べ229億円増の2,558億円となりました。

一方、費用面では、電気事業において志賀原子力発電所2号機が運転を再開しましたが、火力燃料価格の高騰や、石炭火力発電所の定期点検による石油火力発電所の焚き増しなどにより火力燃料費が大幅に増加したことなどから、経常費用は前年同期に比べ424億円増の2,618億円となりました。

以上により、当上半期の経常損益は59億円の損失、純損益は32億円の損失となりました。



(注) 億円未満切捨



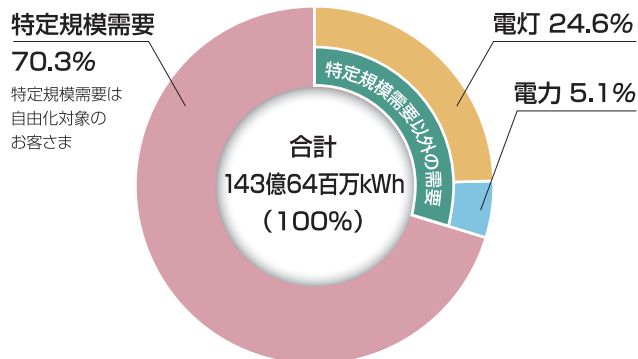
(注) 億円未満切捨

## 販売の状況

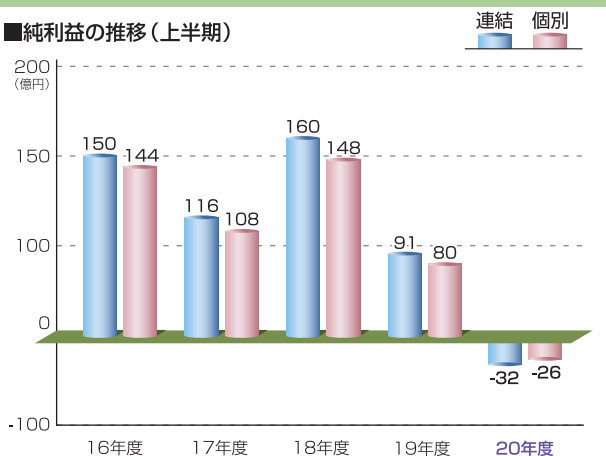
当上半期の電力需要は、民生用についてはオール電化住宅の増加などから、産業用については、景気の停滞を反映し増勢に鈍化がみられたものの、機械器具製造業の伸びなどから、それぞれ前年同期を上回りました。

この結果、販売電力量は143億64百万キロワット時（うち特定規模需要100億95百万キロワット時）となり、前年同期と比較しますと1.1%の増加となりました。

### ■当上半期販売電力量の構成比

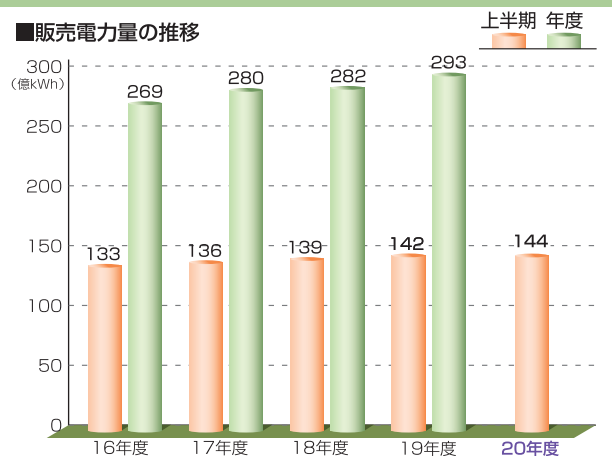


### ■純利益の推移（上半期）



(注) 億円未満切捨

### ■販売電力量の推移



(注) 億kWh未満四捨五入

# 連結財務諸表

## 四半期連結貸借対照表の要旨

(単位:億円)

資 産 の 部			負 債 及 び 純 資 産 の 部		
科 目	当第2四半期 連結会計期間末 (平成20年9月30日現在)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日現在)	科 目	当第2四半期 連結会計期間末 (平成20年9月30日現在)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日現在)
固定資産	12,930	13,273	固定負債	9,021	9,352
電気事業固定資産	10,242	10,536	社 債	5,535	5,635
水力発電設備	1,160	1,192	長期借入金	2,538	2,774
汽力発電設備	1,473	1,546	流動負債	2,235	2,124
原子力発電設備	2,745	2,879	1年以内に期限到来の固定負債	1,421	1,099
送電設備	1,944	1,943	短期借入金	232	321
変電設備	1,027	1,030	引当金	65	89
配電設備	1,565	1,576	負債合計	11,321	11,567
固定資産仮勘定	255	248	株主資本	3,414	3,502
核燃料	866	855	資本金	1,176	1,176
投資その他の資産	1,249	1,296	資本剰余金	340	340
流動資産	1,891	1,893	利益剰余金	2,047	2,133
現金及び預金	890	939	自己株式	△149	△147
受取手形及び売掛金	426	476	評価・換算差額等	85	97
たな卸資産	369	216	純資産合計	3,499	3,599
合 計	14,821	15,167	合 計	14,821	15,167

## 四半期連結損益計算書の要旨

(単位:億円)

費用の部			収益の部		
科目	当第2四半期 連結累計期間 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)	前第2四半期 連結累計期間 (平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)	科目	当第2四半期 連結累計期間 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)	前第2四半期 連結累計期間 (平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)
営業費用	2,515	2,103	営業収益	2,540	2,313
電気事業営業費用	2,463	2,048	電気事業営業収益	2,476	2,246
その他事業営業費用	52	55	その他事業営業収益	63	66
営業利益	(25)	(209)	営業外収益	18	15
営業外費用	102	89	四半期経常収益合計	2,558	2,329
四半期経常費用合計	2,618	2,193			
四半期経常損益	△59	135			
渴水準備金引当又は取崩し	△24	△15			
税金等調整前四半期純損益	△34	150			
法人税等	△2	58			
四半期純損益	△32	91			

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:億円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)	前第2四半期 連結累計期間 (平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	369	417
税金等調整前四半期純損益	△34	150
減価償却費	489	522
投資活動によるキャッシュ・フロー	△295	△218
財務活動によるキャッシュ・フロー	△122	301
社債・借入金等の純増減額	△67	355
自己株式の取得・売却	△1	△0
配当金の支払額	△53	△53
現金及び現金同等物の増減額	△48	499
現金及び現金同等物の期首残高	939	456
現金及び現金同等物の四半期末残高	890	956

## 連結子会社(11社)

- 日本海発電(株)
  - 北電情報システムサービス(株)
  - 北陸発電工事(株)
  - (株)北陸電力リビングサービス
  - 北電テクノサービス(株)
  - 北電パートナーサービス(株)
  - 日本海コンクリート工業(株)
  - 日本海環境サービス(株)
  - 北陸通信ネットワーク(株)
  - 北電技術コンサルタント(株)
  - 北電産業(株)
- (平成20年9月30日現在)

## 持分法適用会社(3社)

- 北陸電気工事(株)
  - 日本海石油(株)
  - (株)ケーブルテレビ富山
- (平成20年9月30日現在)

### 会計監査人の名称変更のお知らせ

当社の会計監査人「新日本監査法人」は、平成20年7月1日付で、法人名称を「新日本有限責任監査法人」に変更いたしましたのでお知らせ申し上げます。

# 環境にやさしい社会の実現を目指して

## 再生可能エネルギー導入拡大に向けた取組み

北陸電力グループは、低炭素社会の実現に向けて、原子力の安全・安定運転を基本に、水力や太陽光、風力、木質バイオマスなどの再生可能エネルギーの導入を拡大します。

これにより、当社販売電力量の約2%（一般家庭約12万軒分の年間使用量相当）にあたる電力の開発を、平成32年度までに目指してまいります。（CO<sub>2</sub>削減量約15万トン／年）

### 1. 水力発電の推進

北陸地域の豊富な水資源の有効活用を図るため、現在発電に使用されていない河川維持放流水\*の活用や新規水力地点の発掘、既存設備改修による出力増加などに積極的に取り組みます。

（平成32年度までに約30か所、発電量増分約80百万kWh／年、CO<sub>2</sub>削減量約2万トン／年）

#### 河川維持放流水を活用した水力発電の開発計画 （着工準備中）

- **仏原ダム（福井県大野市）**  
出力210kW（平成22年度運転開始）
- **有峰ダム（富山県富山市）**  
出力170kW（平成23年度運転開始）

※河川維持放流水：  
河川環境を維持するために  
ダムから放水しているもの

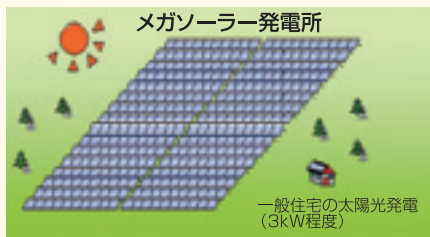


河川維持放流の状況（仏原ダム）

### 2. メガソーラー（大規模太陽光）発電所の開発

北陸地域における太陽光発電導入の先導的役割を果たすため、自社によるメガソーラー発電所\*の開発を推進します。

- **開発規模**: 1,000kW×4か所 程度、合計4,000kW程度
- **地 点**: 北陸3県の当社有地を中心に設置場所を検討中
- **発電電力量**: 4百万kWh／年 程度
- **CO<sub>2</sub>削減量**: 0.13万トン-CO<sub>2</sub>／年 程度
- **運転開始**: 平成23年頃から順次運転開始予定



※メガソーラー発電所  
・発電出力が1,000kW以上の  
大規模な太陽光発電所  
・一般住宅の太陽光発電設備  
330軒分に相当  
・1,000kW規模の建設には  
2～3万m<sup>2</sup>のスペースが必要



### 3.風力発電連系可能量の拡大

風力発電は、これまで連系可能量15万kWを上限として募集してまいりましたが、出力変動による電力系統への影響を検証した結果、連系可能量を25万kWに拡大し、新たな連系可能量の範囲内で、風力発電を追加募集いたします。  
(平成32年度までに発電量増分約350百万kWh/年、CO<sub>2</sub>削減量約11万トン/年)

- 連系可能量:25万kW(10万kW拡大)
- 発電電力量:160百万kWh/年程度(風力発電10万kW相当)
- CO<sub>2</sub>削減量:4.9万トン-CO<sub>2</sub>/年程度(同上)
- 募集開始:平成21年4月頃
- 応募条件:深夜など発電機の調整力が減少する際に運転を一時的に中止等

#### ■北陸電力グループの風力発電の開発

グループ会社の日本海発電では、石川県志賀町の福浦港地区において、風力発電所21,600kW(2,400kW×9基)の建設を進めており、平成21・22年度に順次運転を開始する予定です。

### 4.木質バイオマス混燃発電の導入拡大

現在、敦賀火力発電所2号機において、製材所で発生する樹皮や木屑などの木質バイオマス\*を石炭と混合燃焼し発電していますが、技術面や調達面での検討を踏まえ、七尾大田火力発電所2号機でも木質バイオマス混燃発電を導入します。  
(平成32年度までにCO<sub>2</sub>削減量約2万トン/年)

#### 七尾大田火力発電所

- 木質バイオマス使用量:2万トン/年程度
- バイオマス発電電力量:17百万kWh/年程度
- CO<sub>2</sub>削減量:1.4万トン-CO<sub>2</sub>/年程度
- 運転開始予定:平成22年9月頃

#### ※木質バイオマス

木質バイオマスの燃焼により発生するCO<sub>2</sub>は、元々光合成によって植物に吸収されたものであるため、ライフサイクルで見ると大気中のCO<sub>2</sub>は増加しないという特長があります。



敦賀火力発電所での木質バイオマス混合燃料(石炭・木質バイオマス)の搬送

## 北陸電力グループのCSRへの取組み

北陸電力グループでは、地域社会の一員として、社会貢献活動や環境保全活動に積極的に取り組んでいます。

### 水の恵みをありがとう!「森に恩返し活動」

北陸電力グループは、“北陸地域との共生に向けた事業活動”の一環として、今年度から、北陸3県の5地区(富山・魚津・加賀・能登・福井)で自治体の森づくり事業に参画し、森林保全を行う「水の恵みをありがとう!『森に恩返し活動』」に継続して取り組んでまいります。

10月には、グループ従業員および家族をはじめ、地元の小学生にも参加いただき、総勢約700名が、水源かん養や土砂崩れ防止など、さまざまな恩恵を与えてくれる森林に対する感謝の気持ちを込めて、植林や下草刈などの森林保全のボランティア活動に取り組みました。



能登地区 石動山



魚津地区 三ヶ



加賀地区 風吹峠



福井地区 杣山森林公園



富山地区 白樺平

# 北陸電力グループの紹介



## 北陸発電工事株式会社

"本気で元気に電気を守る!!"

〒930-2201 富山市草島字亀田102番4  
TEL(076)435-5410 FAX(076)435-5411  
ホームページ <http://www.hokuhatsu.co.jp>

### 会社概要

設立年月日：昭和45年4月1日

資本金：95百万円

代表者：代表取締役社長 赤丸準一

売上高：8,610百万円(平成19年度実績)

従業員数：495名(平成19年度末)

### 主な事業内容

- ボイラー・タービンなど発電設備の据付、点検および補修工事
- 機械器具ならびに装置の設計、製作、据付および補修工事
- 電気設備ならびに計測制御設備の設計および施工
- 産業廃棄物の収集、運搬に関する業務
- 警備業に関する業務
- 労働者派遣に関する業務

安全最優先にメンテナンスで電力安定供給に貢献しています

### 技術と信頼をモットーに

北陸発電工事(株)は、北陸電力の火力および原子力発電所の建設・保守業務で蓄積した豊富な経験と技術をもとに、一般産業設備から公共設備まで幅広くメンテナンスをしています。特にボイラー・タービンなど主要発電設備の定期点検や、日常的な機器の分解点検補修工事および電気設備・自動制御機器・計装設備の試験検査、保守点検などに豊富な経験と実績を持っています。



志賀原子力発電所  
低圧タービン組立作業

### 安全・品質管理を徹底

作業の安全を確保するため、毎日、始業ミーティングや現場におけるKY(危険予知)活動を行うなど、事故の未然防止に努めております。

また、ISO9001(品質マネジメントシステム)に基づく事業活動により、高品質化を推進しております。



現場KY活動  
(危険予知)

北陸の手仕事～創る人がいる～ 越前和紙

# 1500年以上受け継がれる、 紙祖神しそしんに守られた技



日本を代表する和紙の産地、越前。奈良・正倉院には730年の年号が記された越前和紙が保管されており、1000年以上の耐久性があります。現在この地では、山のふもとで約70軒、500名弱の人々が和紙産業に従事し、その伝統を受け継いでいます。

## 越前和紙の里「五箇」と伝説の姫

福井県越前市の東部にある不老・大滝・岩本・新在家・定友の5つの町は、「五箇」と呼ばれる越前和紙の産地です。

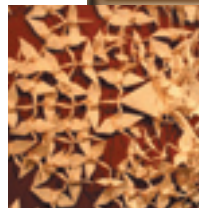
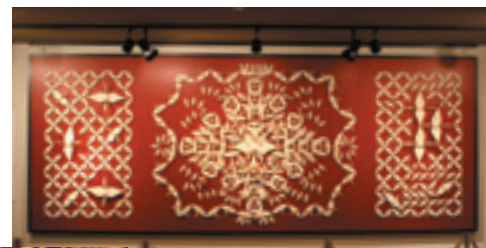
この地方の紙漉きの始まりは約1500年前。大滝を流れる川の上流に美しい姫が現れ、「この村は田畑は少ないけれど清らかな水があるので紙漉きをしましょう」と技法を授けたという伝説があります。その姫を紙祖神「川上御前」として岡太神社おかもとに祀り、紙漉きをしている家庭では神棚を祀るなど、今なお、あつい信仰が続いています。



紙祖神を祀る  
岡太神社と  
大滝神社の拝殿



1990年に整備したシンボルロード「和紙の里通り」。博物館や紙漉き体験ができる施設がある



3枚合わせて550羽の鶴が折られ、迫力満点

1枚の大きな和紙に切り込みを入れて鶴を折る「連鶴(れんかく)」

模様をつける道具「ひっかけ」。「紙漉きだけではなく、道具を作る職人の後継者不足の問題も」と灘さん



証書などに使われる「すかし」の道具。カットしたこの紙を置いたところだけ薄く漉ける



ネリの合わせ加減が肝要で、手で確かめる

## 日本初の紙幣を生産

こうぞ みつまた かんび

和紙は楮・三椏・雁皮などの樹木を加工し、水とトロロアオイなど粘りのある「ネリ」を混ぜて漉き、乾燥させて作ります。

越前和紙は1330年代に「越前鳥の子紙<sup>※</sup>」を確立して以来、公家・武家の公用紙として珍重されてきました。1661年に福井藩が五箇の紙で、日本で初めての紙幣「藩札」を発行。明治元年の1868年には全国に通用する紙幣「太政官金札」に越前和紙が採用されています。



下準備をした楮を水で溶き、ネリを加えて混ぜ合わせる。簀(す)の中にそれを流し込み、傾合いを見計らって木枠をとり、天日干しにする

※鳥の子紙は字が書きやすく虫の害が少ない和紙の一種。滑らかな感触と色が鴉の卵に似ていることがその名の由来で、中でも「越前鳥の子紙」は珍重された。

## 多種多様な和紙を未来へ

越前和紙の里 紙の文化博物館の水野広志さんは、「製紙所が独自の技術をもっていて、奉書紙、檀紙、鳥の子紙など種類が豊富なのが越前和紙の特徴」といいます。近年では、愛子内親王や悠仁親王の命名の儀に越前檀紙が使用され、話題となりました。「この付近の小学生は、卒業証書を自分で漉くんです。私も経験しました」と水野さん。

越前和紙は今、日本の伝統的な紙文化を支えながらも、車のトランスミッションの部品に使用されるなど新たなジャンルの依頼にも応え、意欲的に和紙の可能性を広げています。



### 展覧会に出品した越前和紙の時計

短針と長針を和紙だけで表現した、瀧さんとプロダクトデザイナーとの共同作品。インテリアとしてさりげなく使用できるように、固くて軽く漉き上げている。

## Close-up Craftsman

製紙所の家庭に生まれながらほかの仕事を経て職人になった、瀧さんのお話です。



楮と水、ネリを混ぜ合わせる櫓(かい)。全身を使って力強く混ぜる

技を受け継ぎ、挑戦し続ける若きホープ

3年前にこの世界に入り、紙漉き全般の作業をしています。今は著名デザイナーの依頼で和紙のマネキン用に紙を漉いたり、展覧会に出品したりと越前和紙を広めることにも努めています。

私にとって紙漉きは工芸ではなく産業です。漉いている姿を見せてお金をいただくのではなく、使ってもらう仕事をしたい。ふすまサイズの檀紙を漉けるのはうちの製紙所だけなんです。この技術を継承しながら、新たな紙の道を模索していきたいですね。

### 瀧 英晃さん

1979年製紙所の8代目に生まれる。大学卒業後内装材を取り扱う会社に就職、その後グラフィックデザイナーに。2005年実家の製紙所入社。2007・2008年「素の紙展」参加、2008年「XXIc.21世紀人」に協力。



## 『株券の電子化』に伴う特別口座の開設について

平成21年1月には「株券の電子化」の実施が予定されております。株券をご自宅で保管されている、あるいは、単元未満の株式を保有されているなどの株主さまにつきましては、株主さまの権利を確保するために、住友信託銀行(株)に、株主名簿上のご名義で、新たに「特別口座」を開設いたします。

株券の電子化後の「特別口座」のお取扱いについて、Q&A形式にまとめました。

**Q** 特別口座が開設されたことは、  
どうやってわかりますか？

**A** 平成21年2月に、特別口座を開設した株主さまに、  
住友信託銀行からご案内をお送りいたします。

**Q** 特別口座で、株式の売買や譲渡はできますか？

**A** 特別口座では、株式の売買や譲渡はできません。その  
ご予定がある場合には、証券会社に口座を開設し、株式  
をお移しください。

・なお、単元未満株式については、買取または買増のお手続き  
ができますので、その整理にご活用ください。(次ページ参照)

**Q** 特別口座から証券会社の口座に  
株式を移すにはどうすればいいですか？

**A** 「振替」のお手続きができます。

・特別口座のご名義と証券会社の口座のご名義が同一であれば、  
振替のお手続きで、株式を移すことができますので、住友信託銀行  
へお申し出ください。

・証券会社の口座と特別口座に分散して株式を保有されている  
株主さまは、証券会社の口座に一本化することにより、株式を  
一元管理できるようになります。

**Q** 特別口座について、問い合わせや、  
住所変更等の手続きはどうすればいいですか？

**A** 住友信託銀行で承りますので、  
下記のお問い合わせ先にご連絡をお願いいたします。

〈お問い合わせ先〉 住友信託銀行株式会社 証券代行部  0120-176-417

## 単元未満株式の買取請求および買増請求について

単元未満株式(1~99株)は、証券市場での売買ができません。  
当社では、次の制度を用意しておりますので、単元未満株式の整理に是非ご利用ください。

### ■単元未満株式の買取請求制度

株主さまのご請求により100株未満の株式  
を当社が買い取らせていただく制度。

### ■単元未満株式の買増請求制度

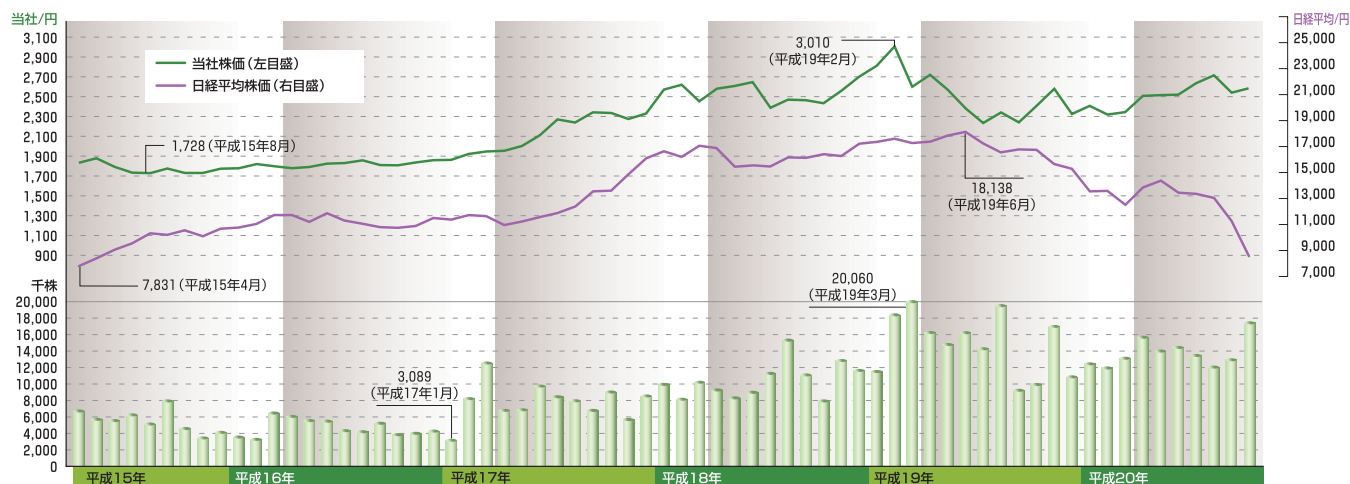
株主さまのご請求によりご所有の単元未満株式と合わせて  
1単元(100株)となるように、当社から単元未満株式  
をお買い増しいただく制度。

例 株主さまが単元未満株式40株ご所有の場合



※株券電子化の前後は、単元未満株式の買取請求および買増請求の受付を停止しますので、  
詳しくはお問い合わせ先にご確認ください。

### ■当社株価(月末終値)および出来高の推移



# 株主information

## 会社概要

(平成20年9月30日現在)

■設立年月日	昭和26年5月1日
■資本金	1,176億4,154万9,080円
■発行可能株式総数	4億株
■発行済株式総数	2億2,033万3,694株
■販売区域	富山県、石川県、福井県(一部を除く)、岐阜県の一部
■従業員数	4,295名(出向者等を除く)
■供給設備	
○発電所	
水力	115か所 出力/181.6万kW
火力	6か所 出力/440.0万kW
原子力	1か所 出力/189.8万kW*
計	122か所 出力/811.4万kW
※志賀2号機において、整流板を設置して運転の場合は174.6万kW	
○送電線	電線路こう長 3,308km
○変電所	196か所 出力/2,825万kVA
○配電線	電線延長 12万369km

## ■主要事業所

本店	富山市牛島町15番1号
地域共生本部	金沢市下本多町六番丁11番地
原子力本部	石川県羽咋郡志賀町高浜町二13番地21
富山支店	富山市牛島町13番15号
高岡支社	高岡市広小路7番15号
魚津支社	魚津市新金屋一丁目12番12号
石川支店	金沢市下本多町六番丁11番地
七尾支社	七尾市三島町61の7
小松支社	小松市栄町25の1
福井支店	福井市日之出一丁目4番1号
丹南支社	越前市新町10字東野末1の6
東京支社	東京都港区虎ノ門二丁目8番1号 虎の門電気ビルディング6階

## 役員



(平成20年9月30日現在)

取締役会長	新木 富士雄	常勤監査役	紙井 成章
取締役社長	永原 功	常勤監査役	坂本 善成
取締役副社長	濱田 昌一	監査役	犬島伸一郎
取締役副社長	久和 進	監査役	深山 彬
取締役副社長	松長 賢	監査役	川田 達男
常務取締役	清原 邦彦		
常務取締役	松岡 幸雄		
常務取締役	高桑 幸一		
常務取締役	塩谷 敏文		
常務取締役	堀 祐一		
常務取締役	本林 敏功		

## 株主メモ

●事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
●定時株主総会	6月
●配当金の 受領株主確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
●単元株式数	100株
●証券コード	9505
●公告方法	電子公告により、当社のホームページに掲載して行います。 ( <a href="http://www.rikuden.co.jp/">http://www.rikuden.co.jp/</a> )

## ●株式に関する事務の取扱い

株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
〔郵便物ご送付先〕	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
〔お問い合わせ先〕	(住所変更等用紙のご請求)  <b>0120-175-417</b> (その他のご照会)  <b>0120-176-417</b>
取次所	住友信託銀行株式会社 全国各支店 当社の本店、支店、支社及び営業所
※「株券の電子化」後は、取次所を廃止させていただきます。	



〒930-8686 富山市牛島町15番1号  
電話 076-441-2511(代表)  
<http://www.rikuden.co.jp>  
発行/総務部株式会社チーム 平成20年11月

